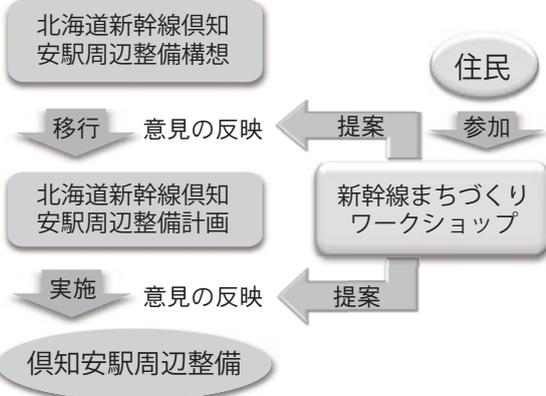




# 新幹線駅まちづくりワークショップ

## 新幹線駅のある「まち」を創る

### ワークショップの位置付け



### ■住民のパワーで未来のくっちゃんを創る

今からおよそ 22 年後の未来、北海道新幹線倶知安駅が開業します。

新幹線は、地域住民の熱意と行動力を合わせることに より、地域を大きく発展させる可能性を持っています。

町では、新幹線開業の効果を最大限に引き出す「まちづくり」を行うため、平成 24 年度より、「新幹線まちづくりワークショップ」を開催し、地域のみなさんとまちの未来を話し合っています。

今回は、その概要をお知らせします。

なお、ワークショップの詳細は、倶知安町ホームページで公開しています。



### ワークショップの開催状況

第 1 回（平成 24 年 10 月 31 日 18:30 ～ 20:30）参加者 35 人  
『新幹線が現実となり 20 年後の倶知安はどう変わるか』を想像しよう

- ・新幹線がまちにもたらす効果の検討

第 2 回（平成 24 年 12 月 14 日 18:30 ～ 20:30）参加者 36 人  
「将来都市の実現のために必要なものは何だろう」

- ・新幹線効果を活かすアイデアの検討

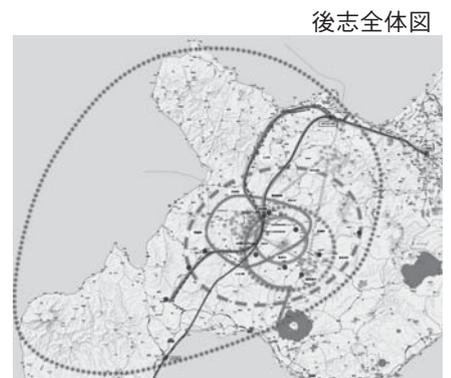
第 3 回（平成 25 年 2 月 21 日 18:30 ～ 20:30）参加者 29 人  
「みんなのアイデアを地図に展開しよう」

- ・アイデアを地図に展開して地域の繋がり等について検討

### ■ワークショップの成果 1 【アイデアの展開】

駅周辺図

- 大きく便利な駐車場**
  - 200 台以上の規模
  - 除雪の心配のない構造
  - 24時間利用可能
  - 料金が安い
- 賑やかで楽しい駅前通り**
  - 駅前通りを歩行者天国に
  - 大通りのように緑化する
  - 複合施設（医・商・住）を
  - 女性が憧れる店・街並み
  - リーズナブルな宿泊・居住施設
- 人が行き交う新幹線駅**
  - 農・名産の販売所
  - 駅内にクライミングウォール
  - 展望デッキ
  - サイクリングの基点
  - 便利な乗り換え
- 安全・安心な街並み**
  - 歩ける街に
  - 豪雪でも安心の道幅の確保
  - 生活道路とバス通路を分ける
  - 一方通行規制で混雑解消
- 便利で楽しい新幹線**
  - 新幹線にじゃが太君のペイント
  - 深夜まで便があればいい
  - リーズナブルな料金



## ■ワークショップの成果 2【新幹線を活かす「まちづくりのアイデア」】

### 新幹線の効果

来訪者の増加  
観光客の増加  
通勤者の増加  
通学生の増加  
遊興範囲の拡大  
文化の移入  
通院者の増加  
教育の充実  
景観の悪化  
自然の減少  
見知らぬ人の増加  
通い就業者の増加  
運賃高で移動の制約

#### グループ 1

「20年後の倶知安もスキー」  
「招く」と「動く」を結びつけ「住む」を充実させた街

#### グループ 2

「来なくなる、住みなくなる倶知安」  
さらにしっかりした田舎まち

#### グループ 3

「倶知安らしさがあふれる街」  
様々な可能性（倶知安らしさ）を活かしたまち

### 理想のまち

後志の顔に相応しいまち  
何回も来たくなるまち  
自信をもって人を呼べるまち  
人口が2万人以上のまち

← ワークショップでは、参加者を3グループに分け、新幹線が開業した未来の倶知安を予想をもとに、各グループの名称を決めました。

### まちづくりの効果

アクセス網の充実  
IT企業の進出  
大学の進出  
ベッドタウン化  
医療の充実  
文化活動の活性化  
商業施設の充実  
飲食店の増加  
景観づくりの活性化  
スキーブームの復活  
観光メニューの充実  
リゾートタウン化

### 新幹線の効果をまちづくりに活かすアイデア

一部のアイデアです。  
ほかにも、たくさんのお意見をいただいています！

#### 【新幹線を降りたら？新幹線に乗りに行ったら？】

- ・羊蹄山展望デッキ ・ホーム to バス ・どこでも乗捨て可能なレンタカー ・眺望を妨げる広告物の規制
- ・雪の心配のない駐車場（立体、高架下、地下） ・駅前通り緑地帯（買い物公園や大通り公園のように）
- ・じゃが太デザインの新幹線 ・駅内にクライミングウォール、農産物市場、アウトドアショップ

#### 【倶知安を訪れたら？】

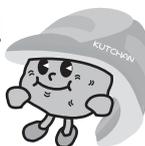
- ・女性が憧れ、歩きたくなる商店街 ・ところどころに雪像 ・後志全体の観光コンシェルジュの常設
- ・ツール・ド羊蹄、音楽フェスティバル ・手作りの店の集合体のような街並み（ログハウス的な）
- ・いもバスツアー ・除雪観光体験、除雪技術の発信 ・じゃが太のブランド化（会いたくなるじゃが太に）
- ・ソーシャルネットワークによる口コミ PR

#### 【住みやすい倶知安に必要なものは？】

- ・商業+病院+マンションの複合施設 ・教育施設の誘致（農業・英語） ・雪エネルギー活かせる企業の誘致
- ・短期滞在用のマンション ・駅近くに高齢の住める環境 ・駅周辺だけで生活できるような施設の立地
- ・新幹線通勤定期への補助 ・医療ツーリズムネットワーク化 ・エコエネルギーの有効活用

### みなさんのアイデアをまちづくりに!!

平成25年度  
新幹線まちづくりワークショップ参加者募集



今後の新幹線に関する施策に活かす住民の提言を様々な観点からアイデアを出し合って参加者でまとめ上げます。

平成25年度は、3回のワークショップのほか、道内のまちづくり先進地の視察を行います。

- 募集期間 平成25年7月31日（水）
- 募集資格 18歳以上の方（高校生は要相談）
- 応募方法 下記まで申し込み
- 問い合わせ 役場新幹線まちづくり推進室  
☎0136-56-8012  
Eメール shinkansen@town.kutchan.lg.jp

### ■まちづくり識者からの提案



北海道工業大学  
未来デザイン学部  
人間社会学科  
教授 濱谷 雅弘

住民参加による市街地再開発の専門家。北海道まちづくり協議会顧問や地域づくりアドバイザーとして活躍されている。

新幹線がまちにやって来ることによって流動人口は確実に増えますが、固定人口の増加や活性化は「まちづくり」次第です。

いろんなアイデアを今できる事、5年、10年、20年後というスパンで整理し、どれを優先するかなど考える題材はワークショップの中にたくさんあります。

20年後のまちを想像し、まちの財産をみんなで方法を考えて作っていく。まちづくりは一人ひとりやるものではなく、みんなでチームとなって進めるものです。